平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業			評価者	市民安全課　菅原　良
防安-08	重点事業	安全・安心まちづくり推進事業 ■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課	市民安全課
			関連課	

総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	防犯活動の充実・強化

1　事業の目的

対象	市民等
意図	防犯意識の普及・啓発及び防犯活動への支援などを行い、犯罪被害を抑止し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため。
効果	防犯意識が向上することにより、地域ぐるみの防犯活動が推進され、犯罪の抑止及び減少効果が得られ、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に寄与する。

2　平成29年度に実施した事業の概要

・市民・関係団体及び警察と連携強化を図りつつ、防犯体制等の整備を進めた。
・防犯に関する普及啓発のため、身近な犯罪情報などの提供を行った。
・ESCO事業により、防犯灯の維持管理を行った。
・市内各地域、子ども関連施設等の巡廻パトロールを実施し、地域防犯活動を実施し、地域防犯活動を行った。
・自治町内会等が設置する防犯カメラの設置経費に対して助成を行った。

3　事業費等基礎データ

	データ区分	28年度決算	29年度決算	データ区分	30年度当初予算	備　考
人口等のデータ	人　口	176,869人	176,466人	人　口	176,308人	・各年3月31日（住民基本台帳）
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値（千円）	80,053	85,246	当初予算（千円）	93,784	
	国県支出金	360	2648	国県支出金	2,700	
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	19,222,000	20,212	一般財源	17,427	
	人員配置数	2.5	2.5	人員配置数	2.2	
	人件費（千円）	19,222	20,212	人件費（千円）	17,427	
事業経費運営	総事業費（千円）	99,275	105,458	総事業費（千円）	111,211	
	市民1人当りの経費（円）	561	598	市民1人当りの経費（円）	631	
	対象者1人当りの経費（円）			対象者1人当りの経費（円）		

4　評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか		2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか		3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか		3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか		3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか		4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー：自主防犯活動団体

事業内容の方向性	□ a:事業内容を見直す ⇒ ■ b:事業内容は現状通りとする □ c:事業を休止又は廃止する □ d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類：□ 拡大 □ 縮小 □ その他	見直しの内容： 事業へ統合
予算規模の方向性	□ A:予算規模を拡大する ■ B:予算規模は現状維持とする □ C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	防犯活動の充実・強化において予算の大部分を占める防犯灯関連経費については、平成27年度に防犯灯の一斉LED化が終了し、平成28年度以降の防犯灯関連の経費は大幅に縮減した。
総評（評価に対する考え方、根拠等）	防犯灯のLED化事業により予算規模の縮小を図るとともに、より効果的な事業の推進を図った。その他、「自らの安全は自らが守る。」、「地域の安全は地域で守る。」の意識の醸成を図るための防犯教室等の開催及び周知に努めた。また、警察・教育委員会等と情報共有、連携により、市民への迅速な情報提供に努めた。		

平成29年度事業実施にあたっての課題（前年度未解決の事項を含む）	① 防犯アドバイザー3名に対し、青色回転灯付自動車が2台で効果的な地域巡廻等が実施できない。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	① 地域巡廻等、青色回転灯付自動車でなければ実施効果ない業務を優先し、防犯教室等の業務で青色回転灯付自動車でなくとも可能な業務は、出来る限り一般車両を活用するように努めた。	□ 解決 ■ 一部解決 □ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	防犯アドバイザー3名に対し、青色回転灯付自動車が2台で効果的な地域巡廻等が実施できない。	

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値）

比較事項	刑法犯認知件数（上段：件数、下段：人口1,000人あたりの認知件数）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	厚木市	逗子市	三浦市
他市実績	710	2,572	1,343	1,915	1,564	2,094	1,877	308	223
	4.12	5.99	5.57	7.41	8.14	5.23	8.31	5.37	5.10

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	安全・安心まちづくり推進事業における人口1,000人あたりの刑法犯認知件数は、犯罪の抑止と直接関連する数値であり、当該数値を下げることが、事業の結果になると考える。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	人口1,000人あたりの刑法犯認知件数	単位	人	指標の傾向	↘	備考

当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
人口1,000人あたりの刑法犯認知件数を下げることにより、防犯施策の評価になる。	目標値	5.0	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5
	実績値	5.3	4.4	4.1	4.1		
	達成率	106.0%	89.8%	85.4%	87.2%		

指標の内容	自治・町内会数に対する自主防犯活動団体組織率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考

当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
「地域の安全は地域で守る。」ことの実施主体となるものが自治・町内会であることから、自治・町内会が自主防犯活動を行うことが犯罪抑止につながる。	目標値	147.0	147.0	147.0	147.0	147.0	147.0
	実績値	129.0	129.0	129.0	129.0		
	達成率	87.8%	87.8%	87.8%	87.8%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	